

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
多木化学株式会社	取締役社長	多木 隆元	兵庫県	製造業	https://www.takichem.co.jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年8月23日
-------	------------

（取組方針）

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組みます。

（法令遵守への配慮）

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

（契約内容の明確化・遵守）

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号		取組項目	取組内容
1	A	②	予約受付システムの導入	・2018年より、予約優先積込制度をスタートし、一定の成果を上げています。今後も予約利用率を高め、待機時間のさらなる短縮に努めます。
2	A	③	パレット等の活用	・現在も大半の出荷にパレット出荷を実施していますが、今後更に一貫パレチゼーションを推進し、荷役作業の時間短縮や負荷軽減を図ります。
3	A	⑭	船舶や鉄道へのモーダルシフト	・現在も長距離、大ロット輸送には、船舶やJRコンテナ輸送を利用しています。今後も効率的な輸送に努めます。
4	B	①	運送契約の書面化の推進	・運送契約の書面化を今後も適正に実施します。
5	C	①	契約の相手方を選定する際の法令順守状況の考慮	・契約する物流事業者を選定する際には、関係法令の遵守状況を考慮します。
6				

PR欄

・当社は、わが国初の人造肥料の開発に成功した明治18年(1885年)創業の会社で、今日ではアグリ分野、化学薬品分野、機能性材料、バイオなどの新規分野において、事業を展開しユーザー様から厚い信頼を頂いております。
 ・2018年にバカマツタケの完全人工栽培に成功しました。3年後の商業生産を目指し、現在事業化検討を推進しているところです。
 ・2019年に地球環境にやさしい鉄道貨物輸送を積極的に行っている企業として「エコルールマーク」の認定を取得しています。